

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

『ニチハエコ外壁プロジェクト』
 1956年、木材の端材を有効利用したハードボードメーカーとして誕生したニチハは創業以来培ってきた木材資源の活用技術を生かし、原料に国産木材チップを使用した外壁材「オフセットサイディング」、および国産木材の中でも間伐材に限定した外壁材「カーボンオフセットサイディング」の生産・普及を通じて、日本の森林資源を守り、地球温暖化防止に貢献する活動を行っています。
 木材の生長過程で吸収したCO2を閉じこめる(固定化する)効果に着目し、木繊維をすべて国産材とした「オフセットサイディング」の販売を2012年に開始。製品のCO2固定量を見える化し、一般住宅の居住者に環境貢献の実感を促す活動で現在も、これからも、環境との共生、建物のロングライフ化の実現を目指して新たな取り組みを続けていきます。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	『オフセットサイディングでのCO2固定化』(木材の生長過程で吸収したCO2を閉じこめ固定化する)した商品を認知させる。木繊維をすべて国産材とした「オフセットサイディング」。製品のCO2固定量を見える化し、一般住宅及び公共建築物まで拡大させ、自治体に対して低炭素化への貢献量を認定するという当社の新たな活動環境貢献意識を喚起する取り組みを行う。	『オフセットサイディングの製造・販売により、毎年2,100トンのCO2を固定化。⇒2024年度目標指数2,200トン。
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	『窯業系サイディング及びセンチュリー耐火野地板端材回収リサイクルシステム』。建築業界が抱える大きな環境課題である「建築廃材の適正処理」。ニチハは「循環型社会を目指して、もう一度資源へ」をスローガンに、「広域認定制度」を活用した端材回収システムの普及を推進。	年間580トンのリサイクルを行う。⇒2024年度目標指数600トン。
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	『ラフカットサービス』。 建築現場で発生する廃棄物(製品の端材)を大幅に低減する「製品出荷前プレカット(ラフカット)サービス」。既存リサイクルシステムと合わせて「持続的な完全循環型リサイクル事業モデル」を推進。	年間12,000坪の商品のラフカットサービスを行う。⇒2024年度目標指数15,000坪。

<パートナーシップ>

■地球環境保全に貢献する「クリーンウッド法」にも対応。
 2017年5月に施行された「合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律(通称「クリーンウッド法」)」は、国際的に問題となっている違法伐採への対策法で、伐採国で合法に伐採された木材等の流通を促進することで、違法伐採を抑制するための法律です。ニチハは窯業系サイディング事業者では初となる「第二種木材関連事業者」として登録。
 ニチハグループは、このクリーンウッド法に基づき、木材等の譲り受け、譲り渡し時に木材の合法性を確認し、合法伐採木材の流通及び利用の促進に取り組んでいます。

■『日本の森林を守るために共に行動する企業』に認定。
 ニチハは森林・林業・木材産業関係6団体で設立された「国産材を活用し日本の森林を守る運動推進協議会」の「日本の森林を守るために共に行動する企業」に認定。次世代に向けて健全な森林を引き継いで行く為、国産材の優先的な利活用に取り組んでいます。

■林野庁が取り組む「木づかい運動」に登録。
 国産材の積極的な利用を通じて山林を活性化し、CO2を十分に吸収する健全な森林づくりを目指し、2005年から参画。モエンエクセラード、モエンサイディングWを登録。

■「国産材マーク」使用許諾製品に認定。
 モエンエクセラード、センチュリー耐火野地板は、一般社団法人全国木材組合連合会より製品本体に含まれる国産木材を体積比率50%以上使用した製品として認定。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
 ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
 ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。

○ SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係る進捗状況(※更新の場合のみ。)

○登録状況:第 期登録(登録年月日:令和 年 月 日)

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済			
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済			
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済			

・「登録状況」及び「登録番号」を記載してください。

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。